

## 河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成21年度採択テーマ

### 事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
美和ダム排砂バイパスシステムの運用高度化に向けた流砂モニタリング手法の開発(研究期間: H21年~H23年)	京都大学 角 哲也	A
<p><b>&lt;研究概要&gt;</b>                      美和ダム貯水池への土砂堆積を抑制するために設置された排砂バイパスの操作を高度化するために、流入河川に高濃度濁度計を設置して連続観測を行い、流入量、降雨および上流濁度データを用いて貯水池への流入濁度を予測する手法およびこれを用いた操作支援手法を検討した。また、排砂バイパス効果をモニタリングするために、ITVカメラをバイパス流入部に設置し、画像を用いた貯水池内流動場および濁度分布の計測手法を開発した。</p>		
<p><b>&lt;事後評価コメント&gt;</b>                      本研究では、観測、考察、モデリングと幅広く研究が行われており、流入量、上流域降雨量、上流濁度を用いた濁度予測式が構築されるなど、研究目的が達成され、十分な研究成果があったと言える。                      実用化を考えた今後の展開が重要であり、他地域への適用性などについて更に検討を進めることを期待する。</p>		

#### ※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い